

直毘靈ノ出文

○ 葛花ニ論文

記す者奇淫友多難用其言もとて是れ、  
予、錫を叩け、物漸おふか、公房者物  
堅皮此楊成ね、孝なると、阿なと、  
なると、はを、え、た、お、さ、ん、た、の、聲、も、ら、ひ、り、れ、  
風致會祐、八、隠生、う、私、者、ふ、か、り、う、道、家、の  
物、れ、地、も、の、ま、お、た、ね、い、ら、ん、さ、兼、た、お、れ、と  
那、く、志、し、は、一、は、ま、交、り、を、ま、か、ね、と、い、は、し、り、れ、  
お、ら、か、ら、ぬ、お、志、は、ぬ、高、麗、者、か、ら、  
さ、り、お、先、人、六、十、の、延、延、を、い、ら、ぬ、所、者、色、等、  
一、葉、れ、瑞、子、大、黒、店、を、い、ら、ぬ、二、洋、山、家、乃

幽情を暢らけりてふるを愛合二十歌仙の函集  
わたりぬるも一集の覆影るもあはれ  
空疆に遊をたせんも酒のく松栢乃  
禱をのこす深波うき花名を死の能  
黄庭乃功德の心 一巻と紙もせん  
ふらふ

東都の僧南丹とてん

兼記也

鶴の卵に奇淵

つけて極ふや

松花

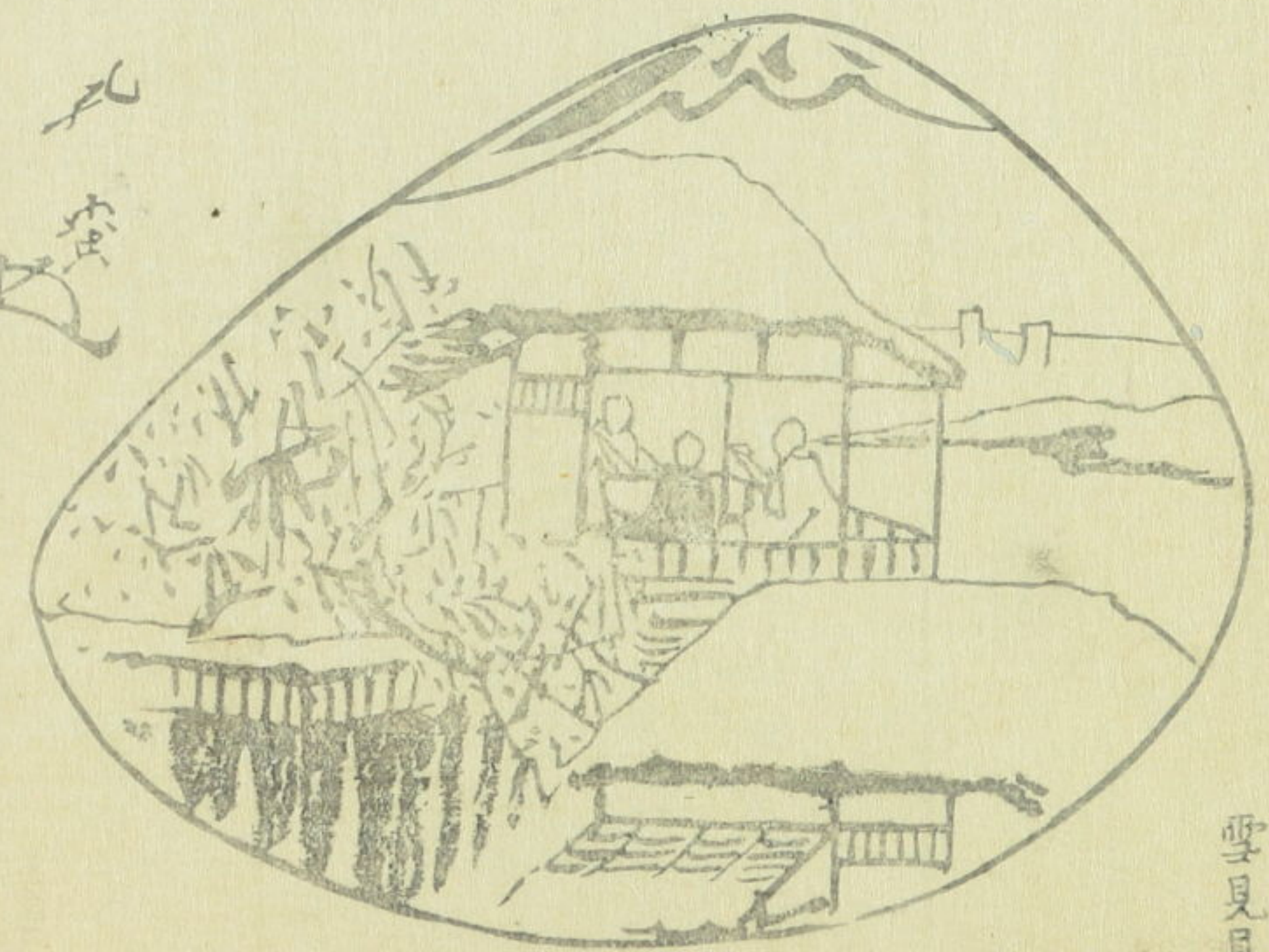
朝野在平いふ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ



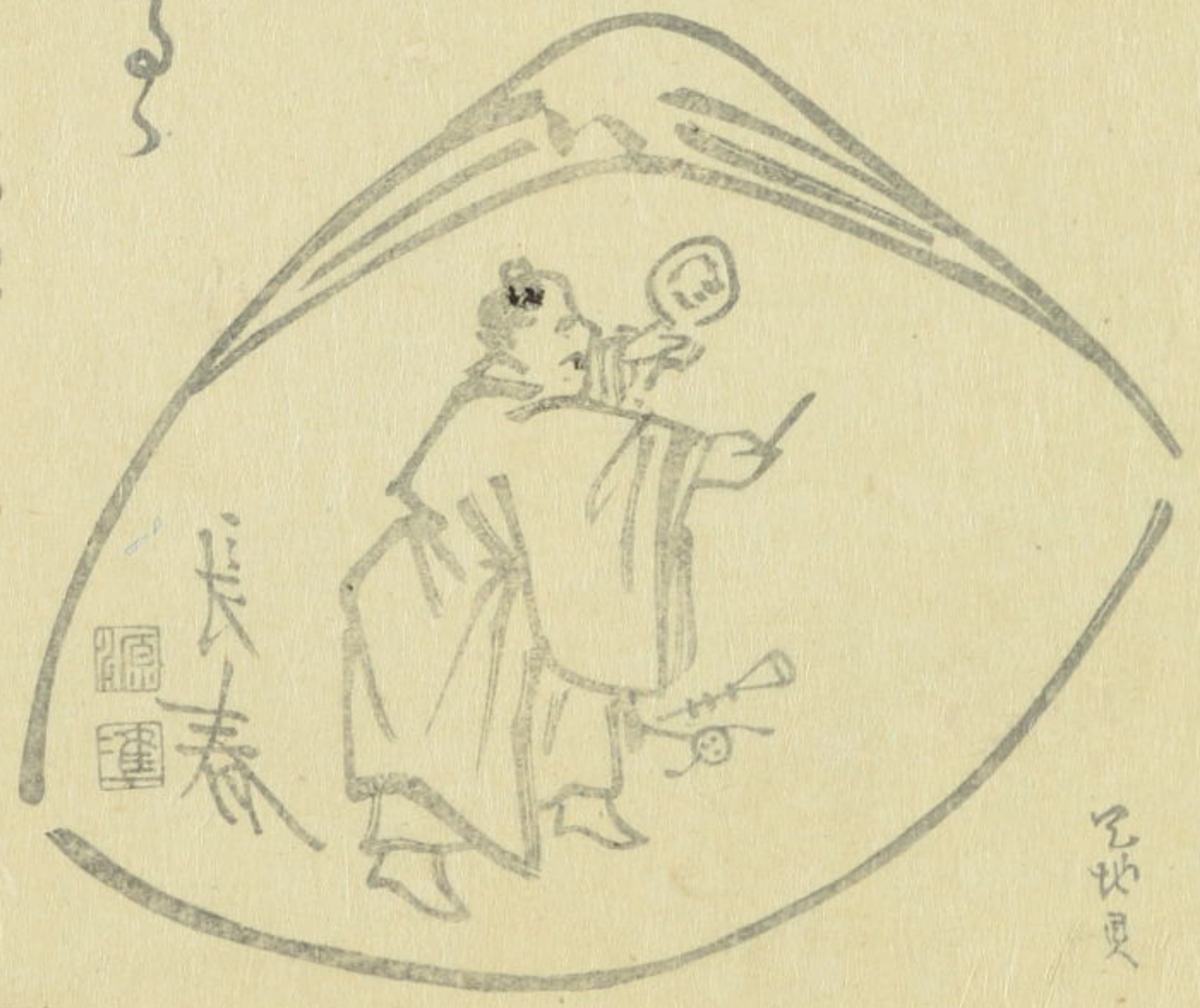
呂調出前編五合  
孔寅懐華画家長山氏

聖見具

耕六

親の手と

あはれ



乙地更

阿所春田氏別號晴霞堂

甚路佳号田中卷  
霞丈中抄編

梅うらや  
あはれ  
まはる  
川

具  
如

長  
春

廿一

宇はを思はるるや 秋のちほゆへ  
霞を志しるるや 風の音 岸邊  
自ははるるを 暮まよひけり  
大芥うらや 泣くあはれ 岸邊  
かゝいの松の台葉を 捲て 雲  
雲と対ると 糸のよきを 蓮  
雲の音の 祝の歌を 啼ちとり  
雲長へ 春の音 彼の伴に 涙

山にそめて一葉染むるおて  
 音響の心に響けりしと梨  
 誅殺を夕雨と歩の里を  
 雨の濁りたはる 翔日  
 字名の古き縁起に米を  
 一尺たぐり 糠のしを  
 暮途を驛路の程の遠く  
 夕ふも枯るるを乞ふ  
 帳をとうろく 袂溜くさく  
 古くと呼ぶ 答 寸  
 道 道 道 道 道 道 道

たゆむ雪大雪小雪うて、降、  
 火桶破〜と氣をい〜  
 字列で格の音をあ〜  
 まなりの板の〜ぬ 砂川  
 ふる血なる山をふるま〜  
 大、いせつふ梅むきの壺  
 け家の古巻を虫に志てや〜  
 飯の仗のや〜并は〜  
 松竹を上篇をも徳とるひ  
 小夜の海に占のはほし  
 道 道 道 道 道 道 道



善根結之志

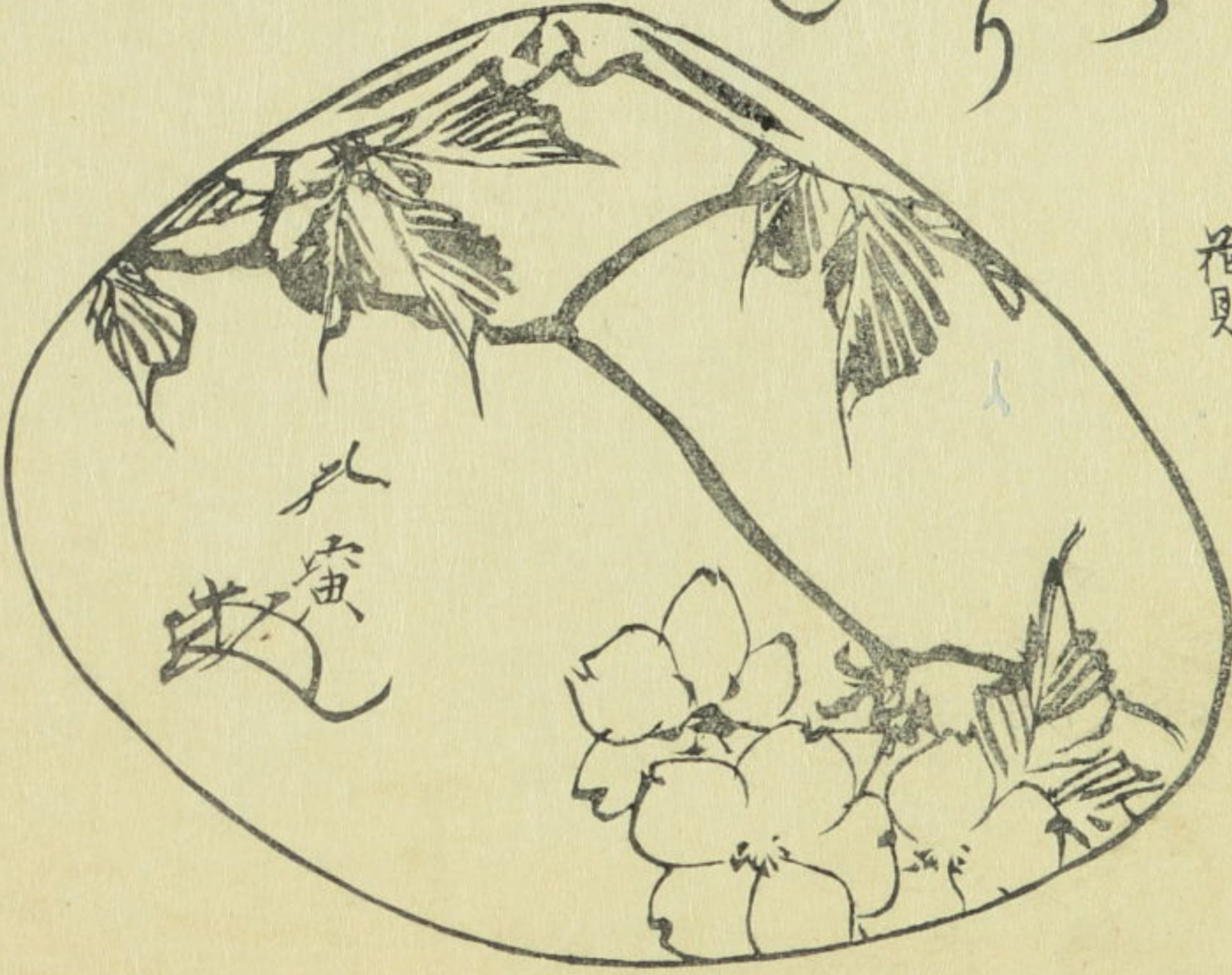
目而了摩り

老婦し

淋山

あじこいり

國村



花貝

淋山也盆合  
國村東神高岸氏

冊四

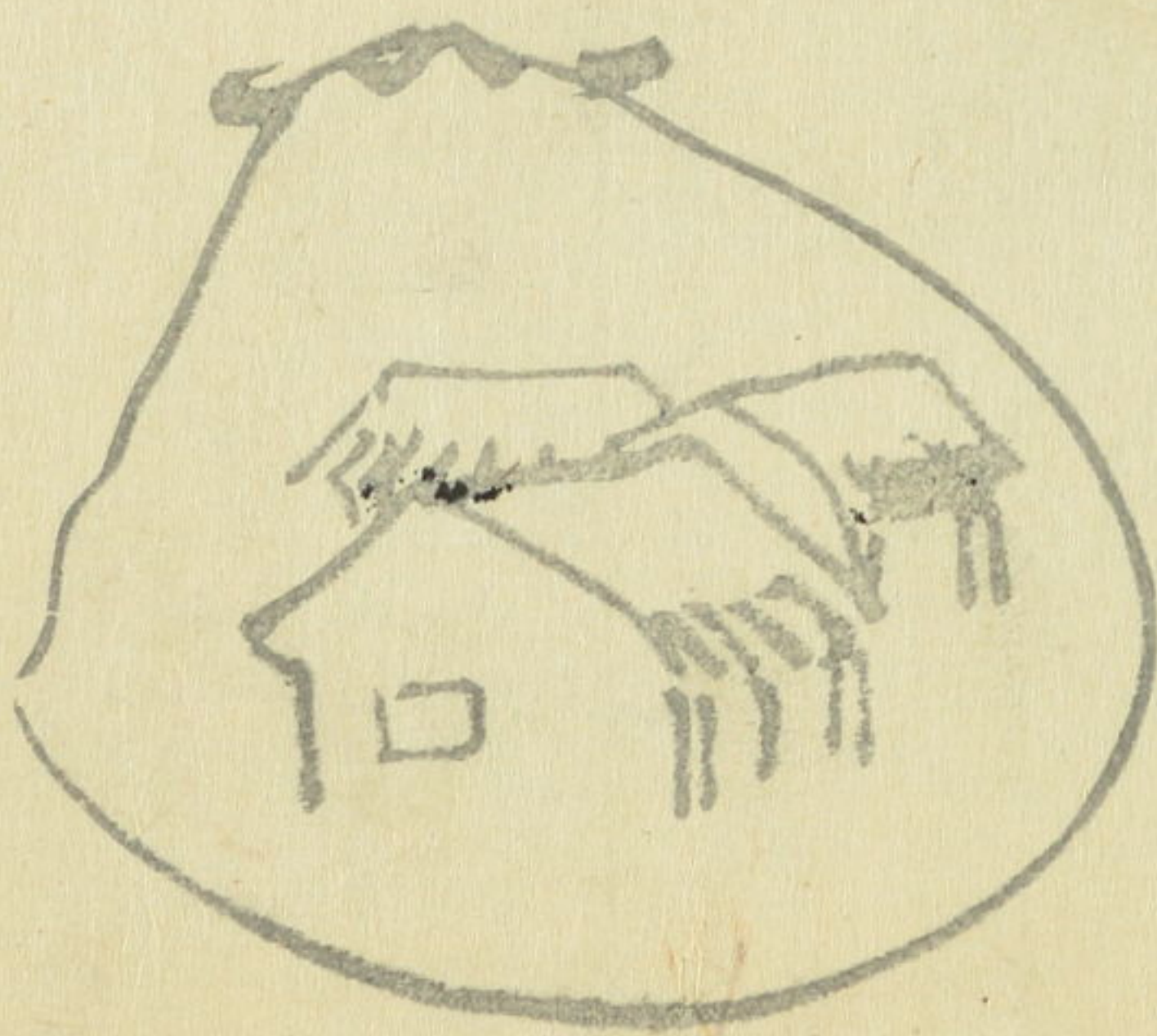
友共世流

山月  
すゝめ

山の家

是屋

女男貝

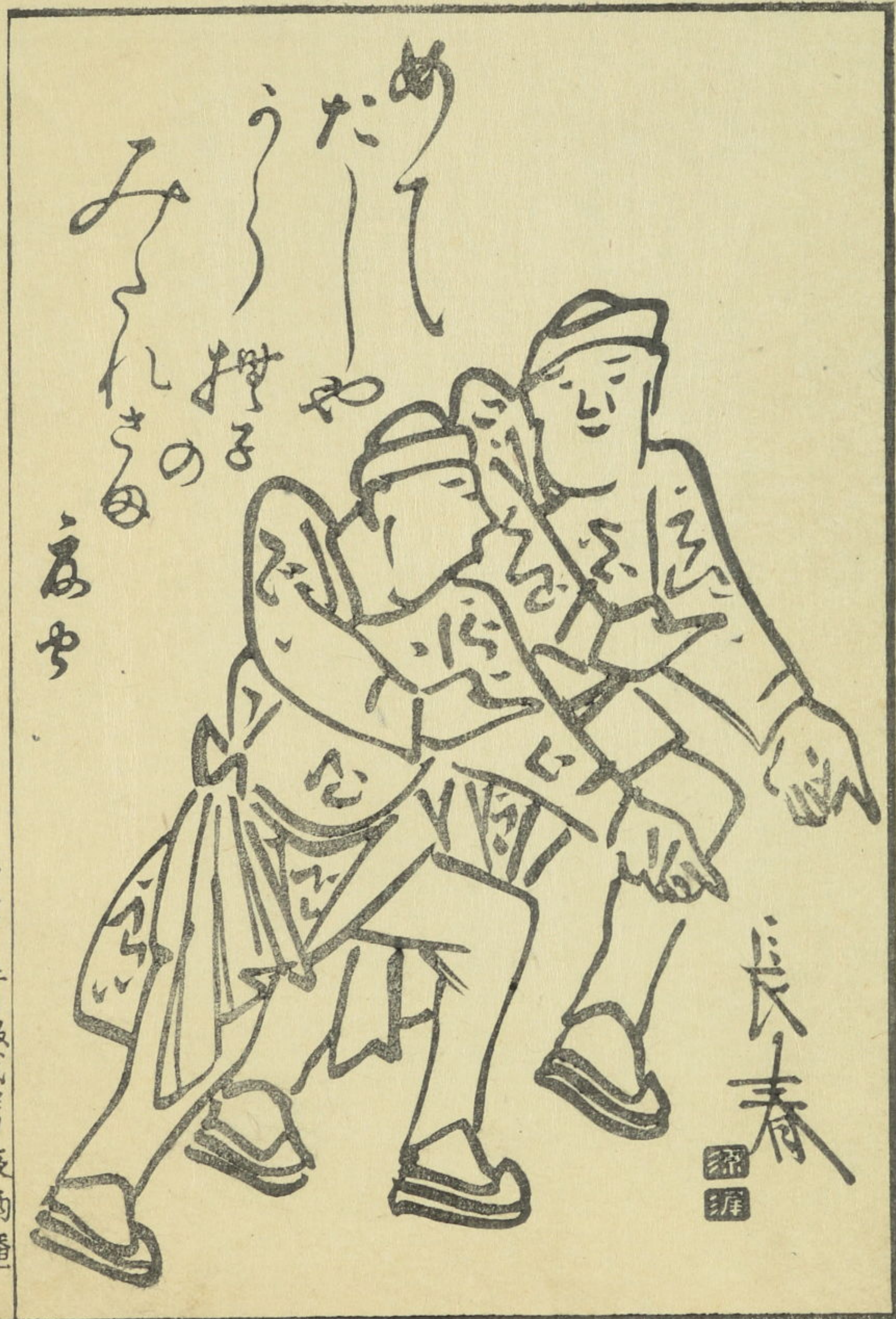


傲態考先

奇洞

勢陽細頭城下御民姓小濱号蝸室






沿華井坂氏弓夜兩庵



廿五

梅香伴  
 亭尔波  
 能月夜  
 遠天良  
 之華里

模歌

嘉言  




勢州八田住田上氏

狂

おき

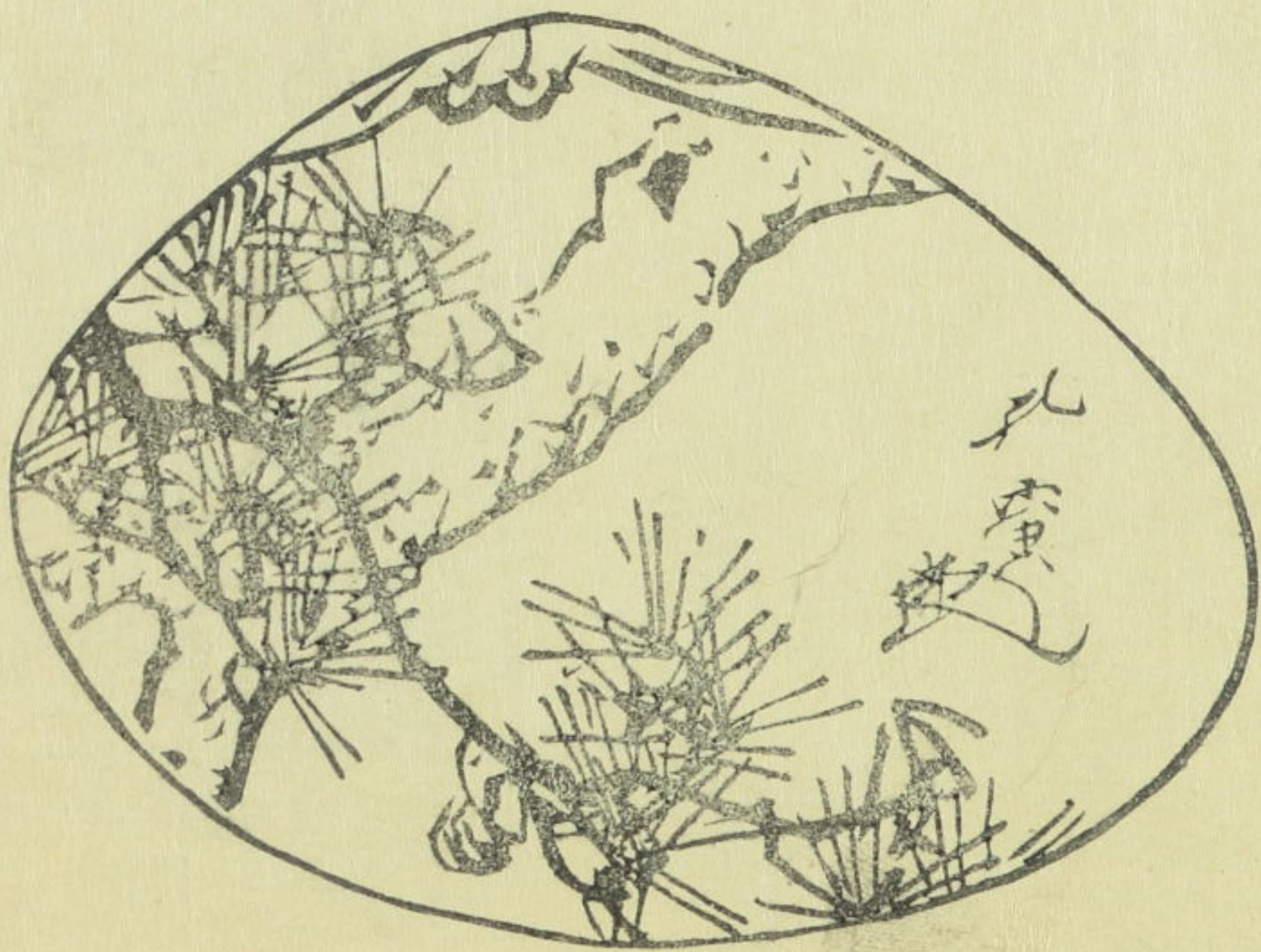
人の

名もいふ

招の色

花季

ま洞き



勢州嬉野邊号早苗菴

伏竜貝



こころ〜やまは  
 しるき 淀の舟  
 伊波保  
 淀舟  
 大つて  
 舟のハ  
 舟  
 舟

伊波保 舟外住  
 舟 同云渡住  
 一道 信平人別号桂花



舟の舟を  
 舟の舟を  
 舟の舟を  
 舟の舟を  
 舟の舟を

信平住依々舟氏舟舟下舟

長春



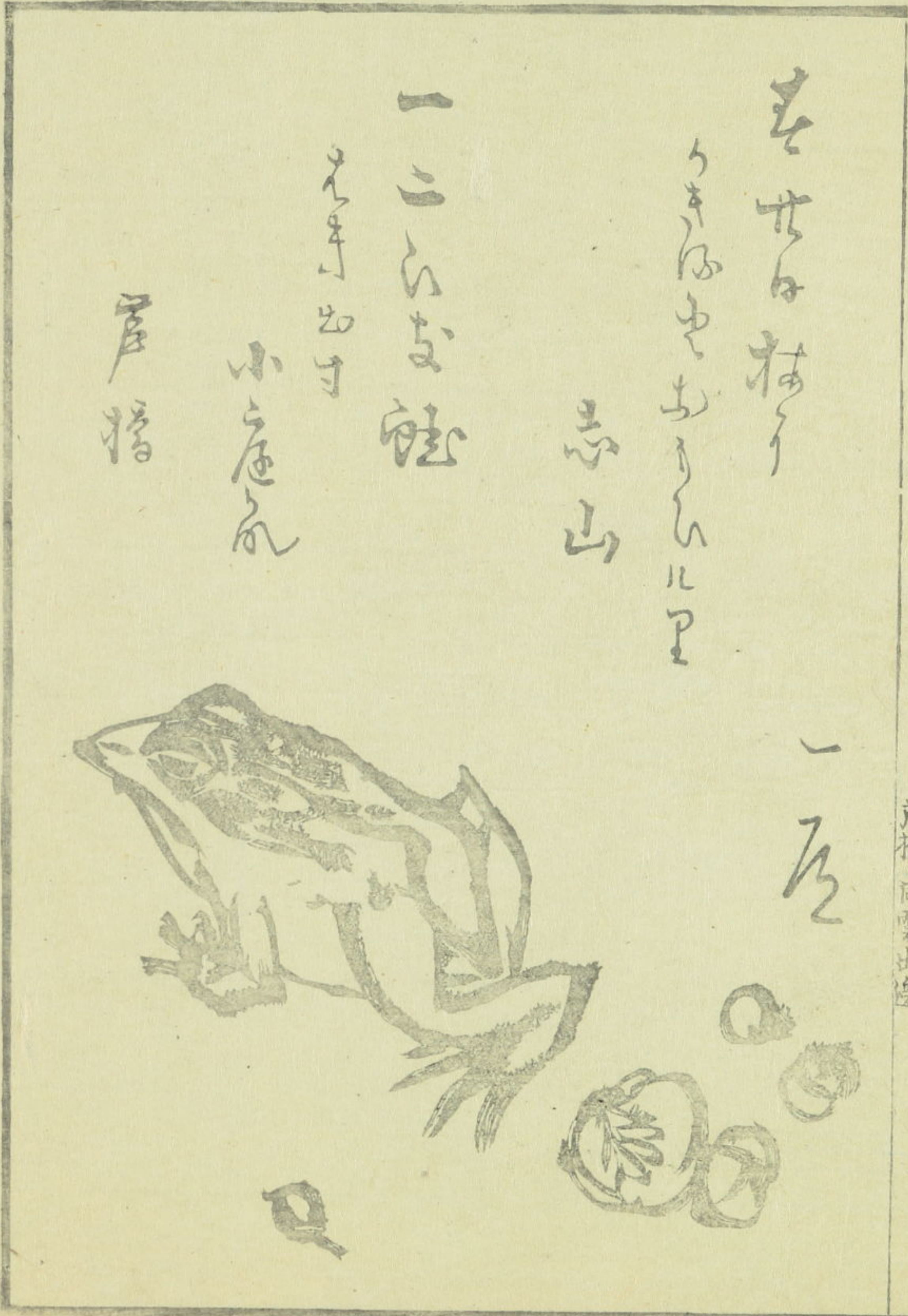
長春 

吉田の清あり  
 二かひのそとに  
 きふあやえ

夢けら

巢居

江華一住西尾氏より夢けら名又歌に連



志山

うきふもあらしに

志山

一ふふ

えんじ

小庭

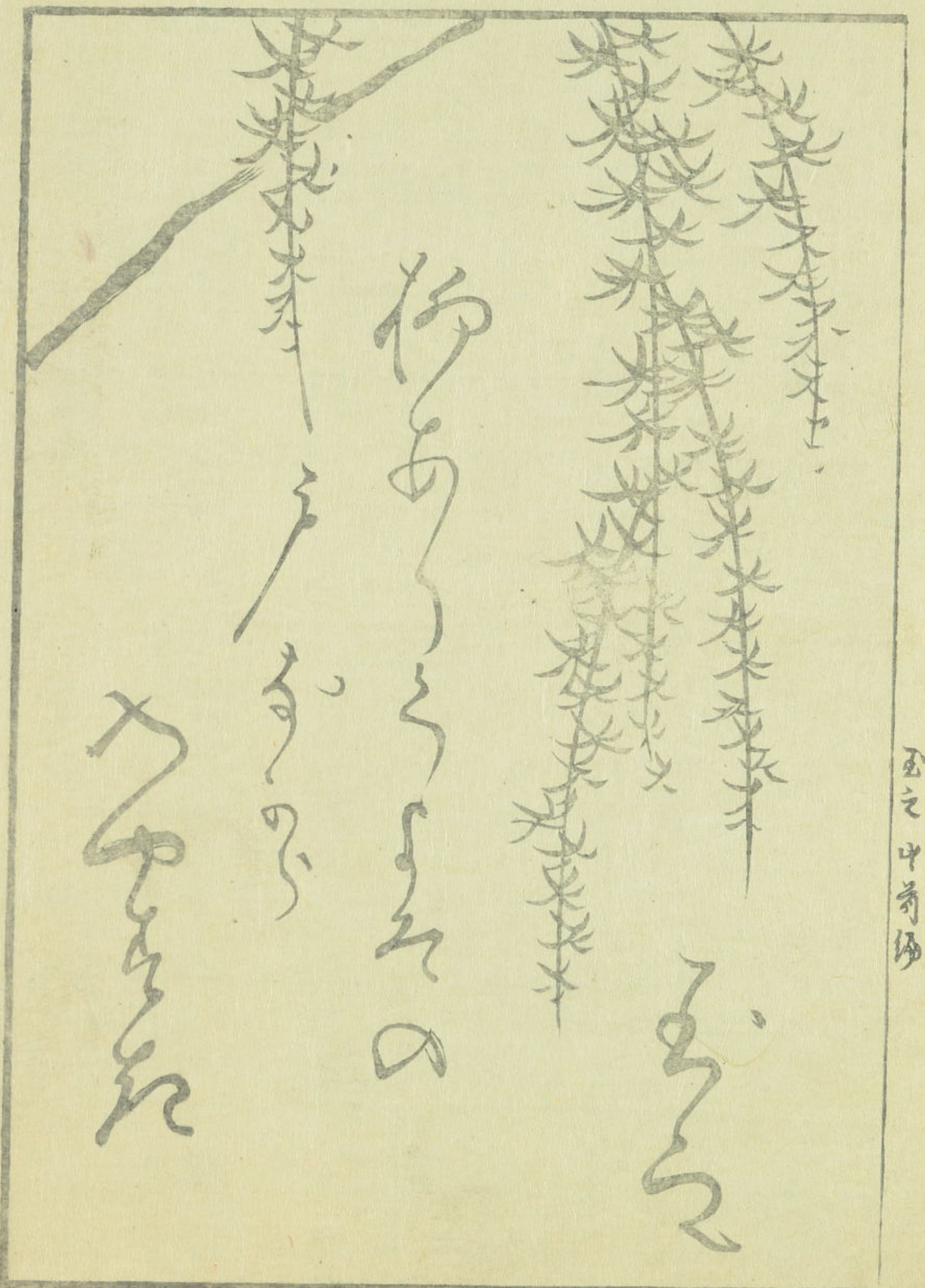
岸橋

一乃

志山 同忘井上住別号汲古堂  
 岸橋 同雲出邊



長春位別号二枝庵



五之中前場



其二



古  
新  
を  
替  
り  
の  
水  
の  
南

隠  
象  
中

石  
洞  
法  
宗  
院

紅  
葉  
の  
柳

蒸  
水

山  
科

嵐科 蒸水 同今井氏號社目軒

小  
水  
池  
也

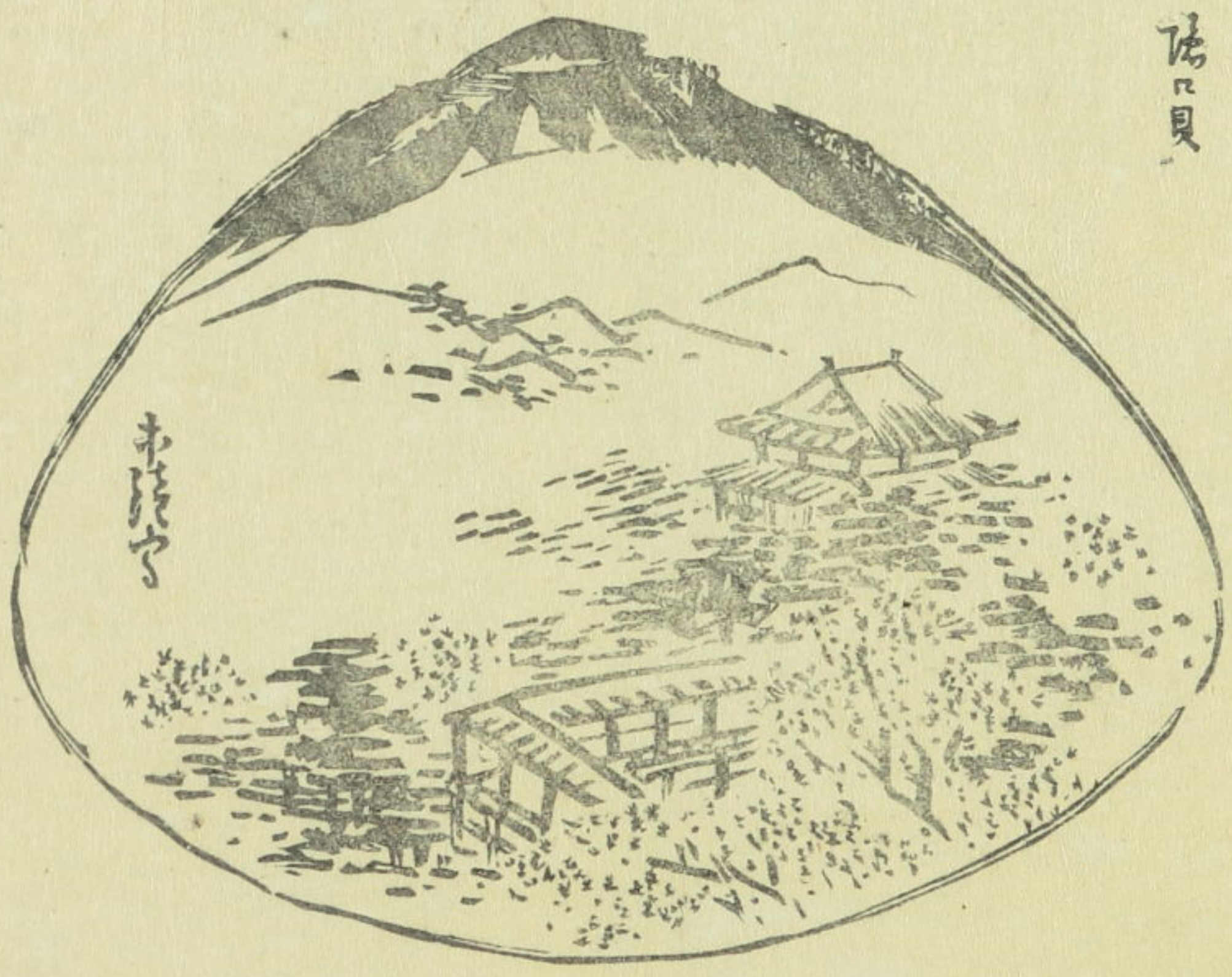
山  
の  
池

山  
の  
池

山  
の  
池

山  
の  
池

山  
の  
池



山  
の  
池

山  
の  
池







柑子あく日也

うらむすは

垣おり

舟丸

三

曾洲

三花社裡 笠下沿岸 井上氏号命源亭

曾洲、川合氏号甘商屋  
什丸、瀬野氏号田蓑庵

くわも又志い〜

強をた〜

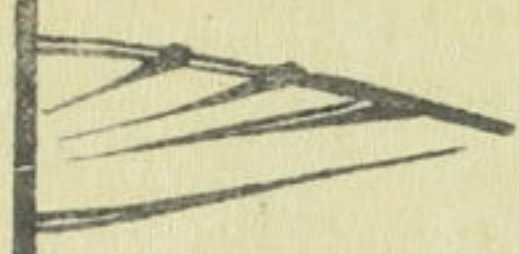
笠下

鳴〜

日技の

出像は

三



三

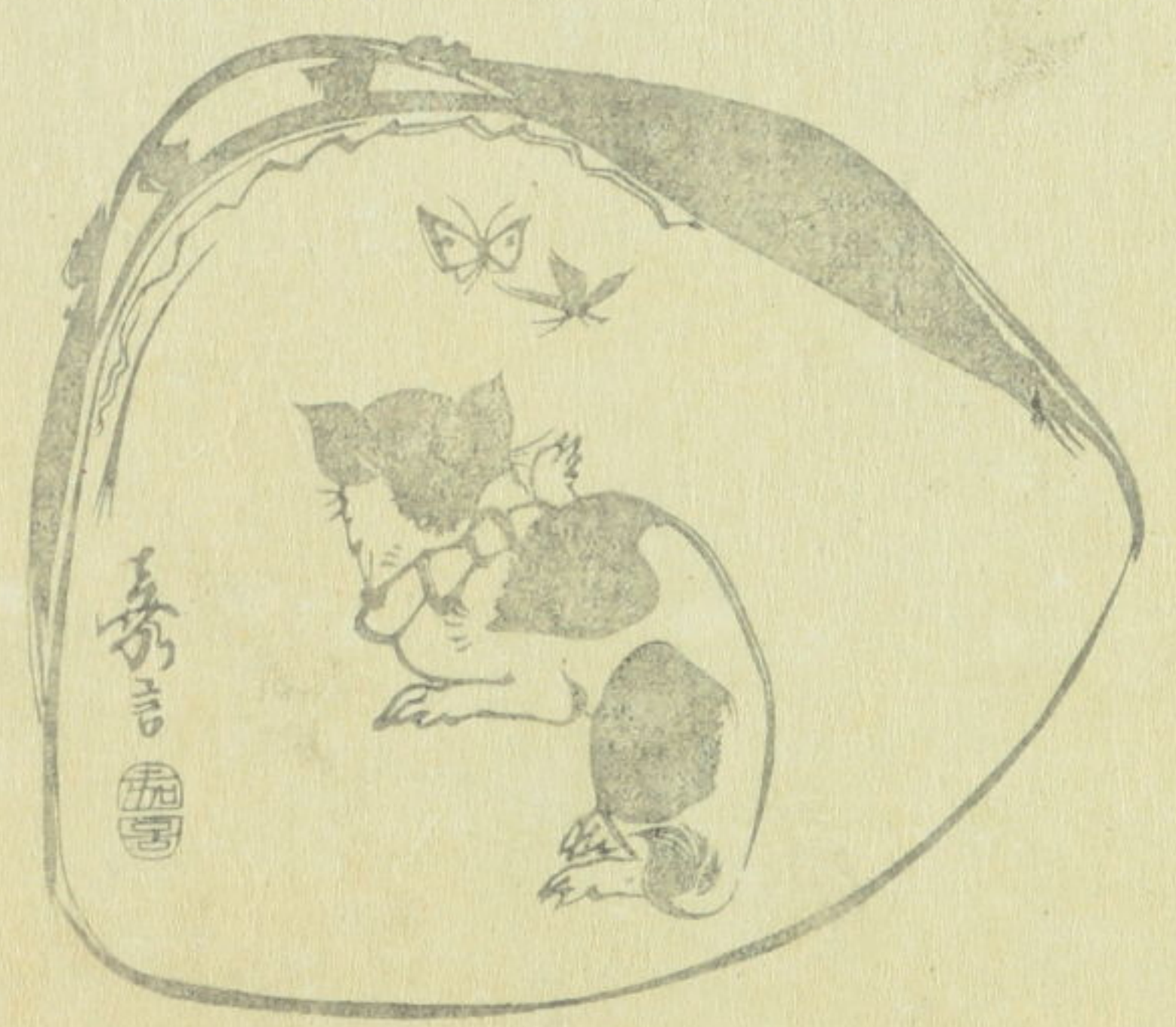
大いしつるんえ  
もつるまの牡丹

香洲

羽口結朝風

かく  
あふふん

磁花



長言

富貴貝二

青洲 振別伊丹辰巳氏号 後日全  
聯花 豊後天銅住

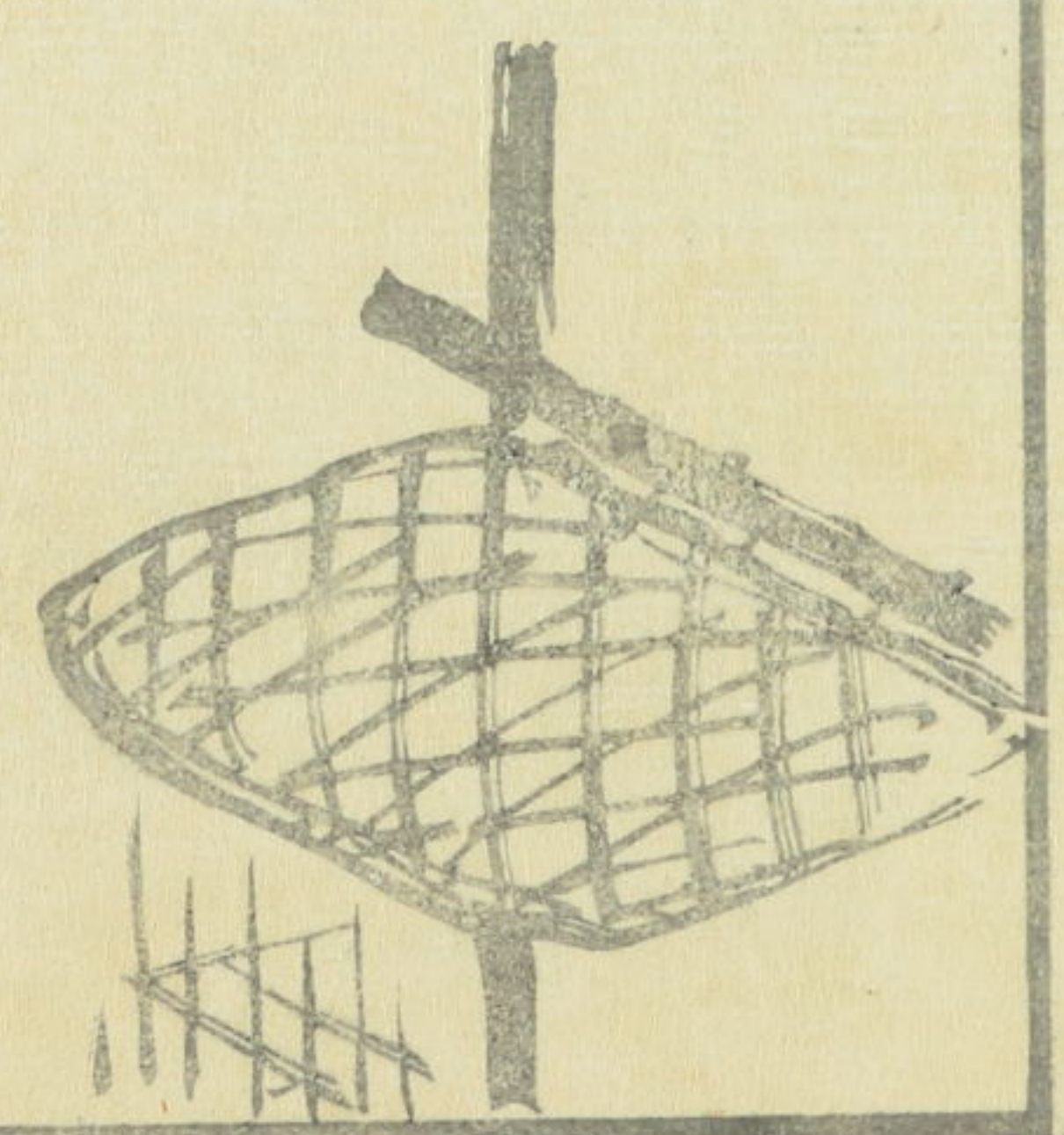
山

此本の戸也

は東のえり本也

あふふん

白鳥



又 越の海之の

小川やらけ汁

藤祐  
白鳥

白鳥 浪卷今井氏号 藤祐舎  
藤祐全 田雀氏号 白鳥子

世喜安 浪花中郎氏号 蘆花亭  
菴 卿 左 清水氏号 萬歳樓

蜀黍水もささるる  
竹やうたのあめなる

世喜安

大川に流るる

ささるるの行

あふ

木葉守



釋 (如)ハ志如ク 善ク也

孔子ハ

孔子

予ハ

善見

檀堂



防州僧号 露星觀

園のくはあまを長く一日のけしすす 末報  
 森のはいくあくあのあまま 當節  
 汲すてあまの記念 著書  
 とはあく 其稿  
 深く 果因  
 本持のそうな 一色  
 野さのあ 扇  
 抄のあま 友之  
 信あ 打  
 鳴と 三四



長春



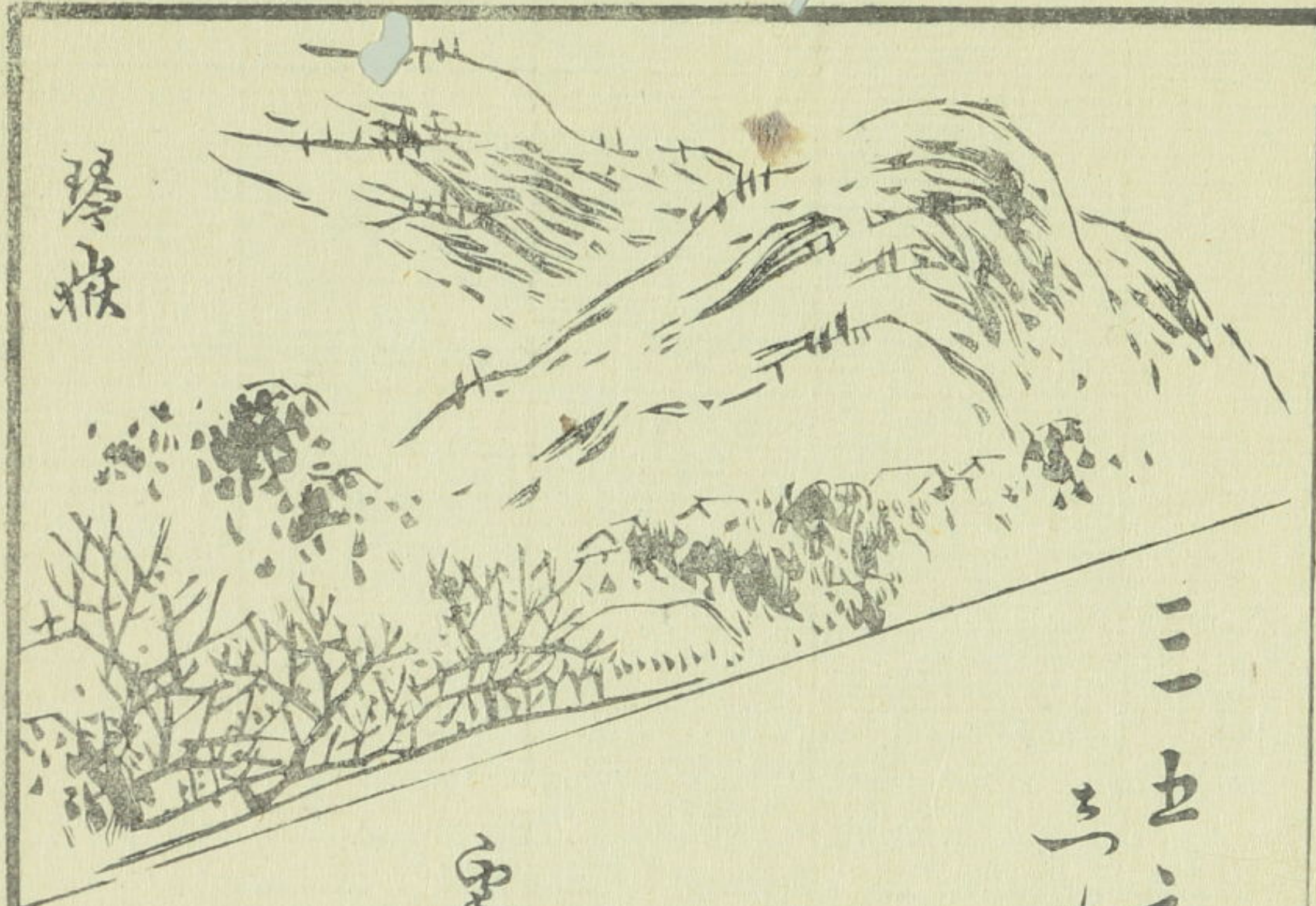
ふろくとね  
ちるゝ麻のき

あはまを  
あまを

指



花洛美代氏号桂林舎



琴嶽

三五

夜の  
三の  
夕櫻

甘雄

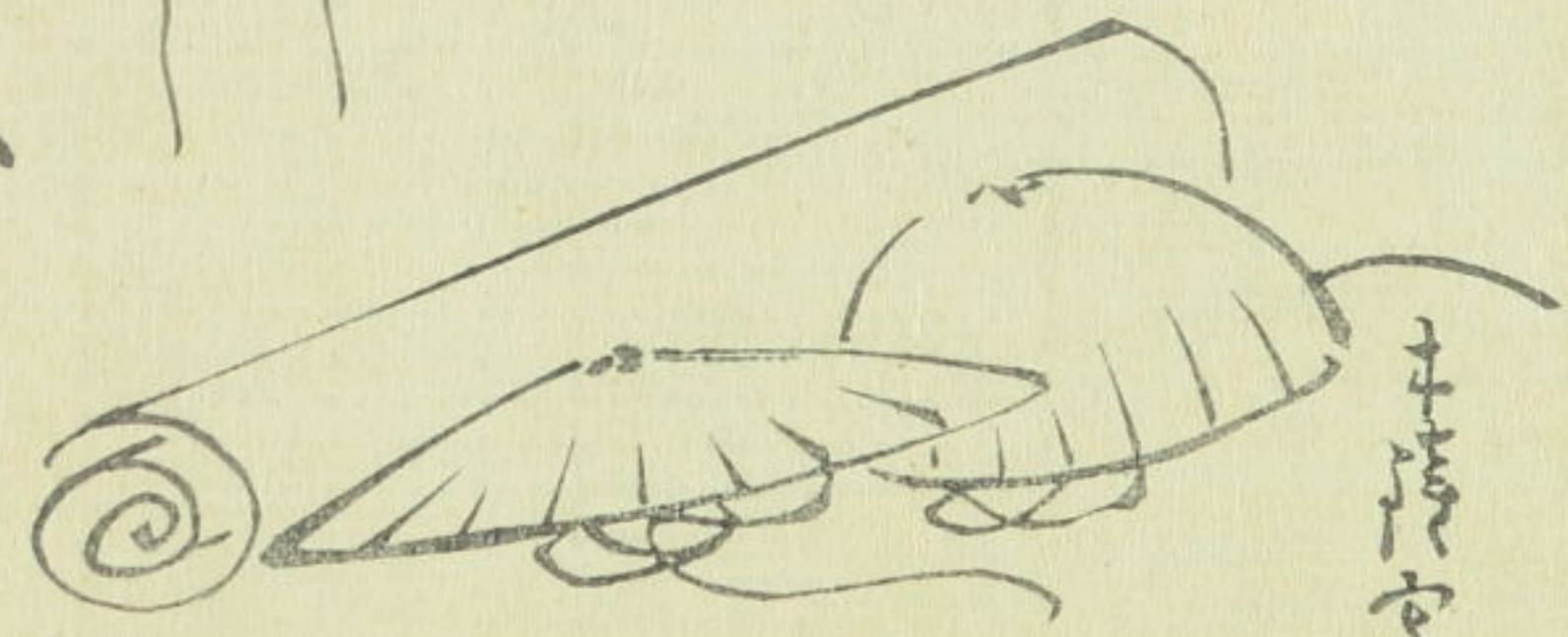
甘雄

東や

ぬす

内丸

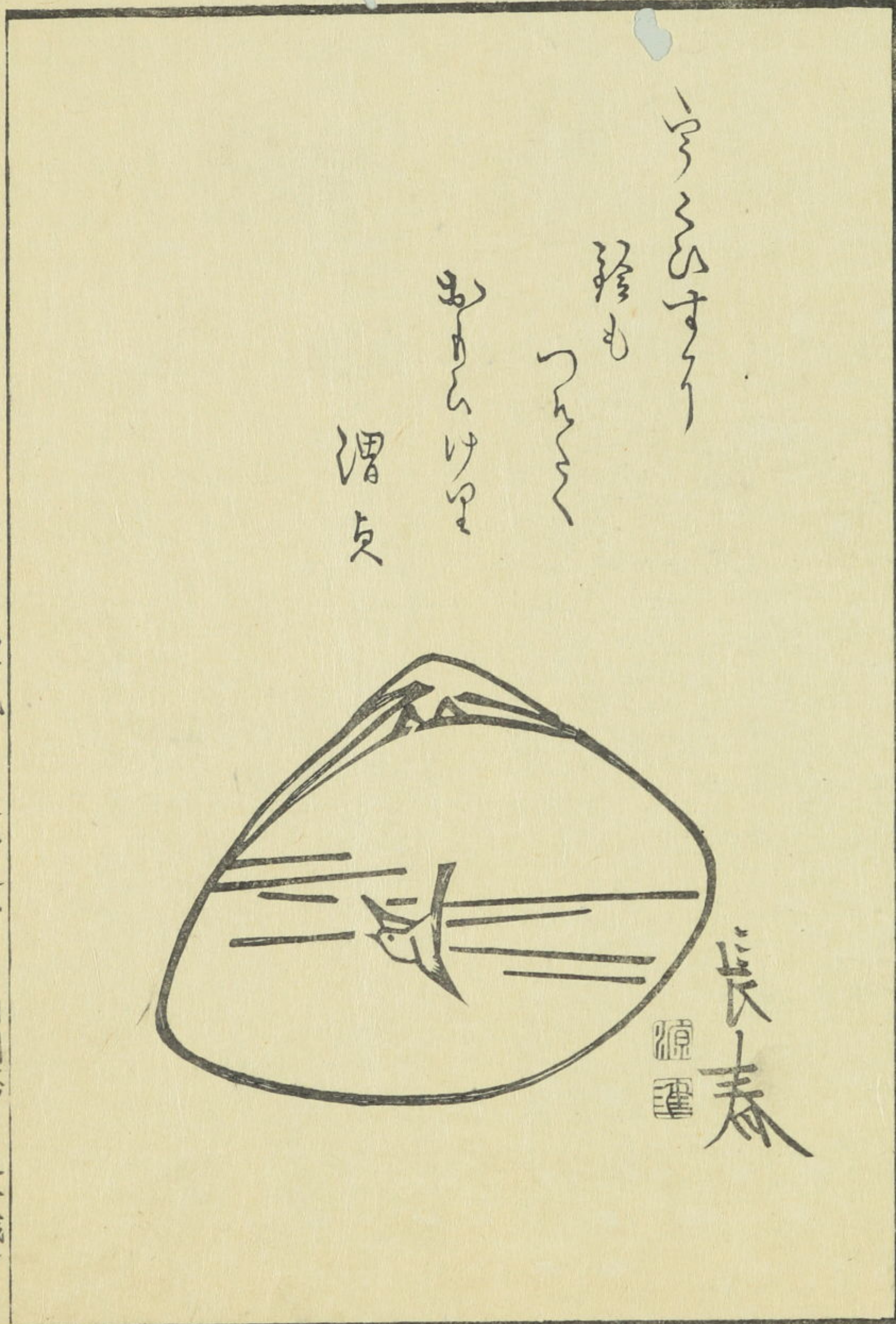
山东



本陣

其雄浪華、  
山東、

号苑源洞  
号六八亭



一  
つ  
す

珍也

つ

あ

溜貞

長春

源

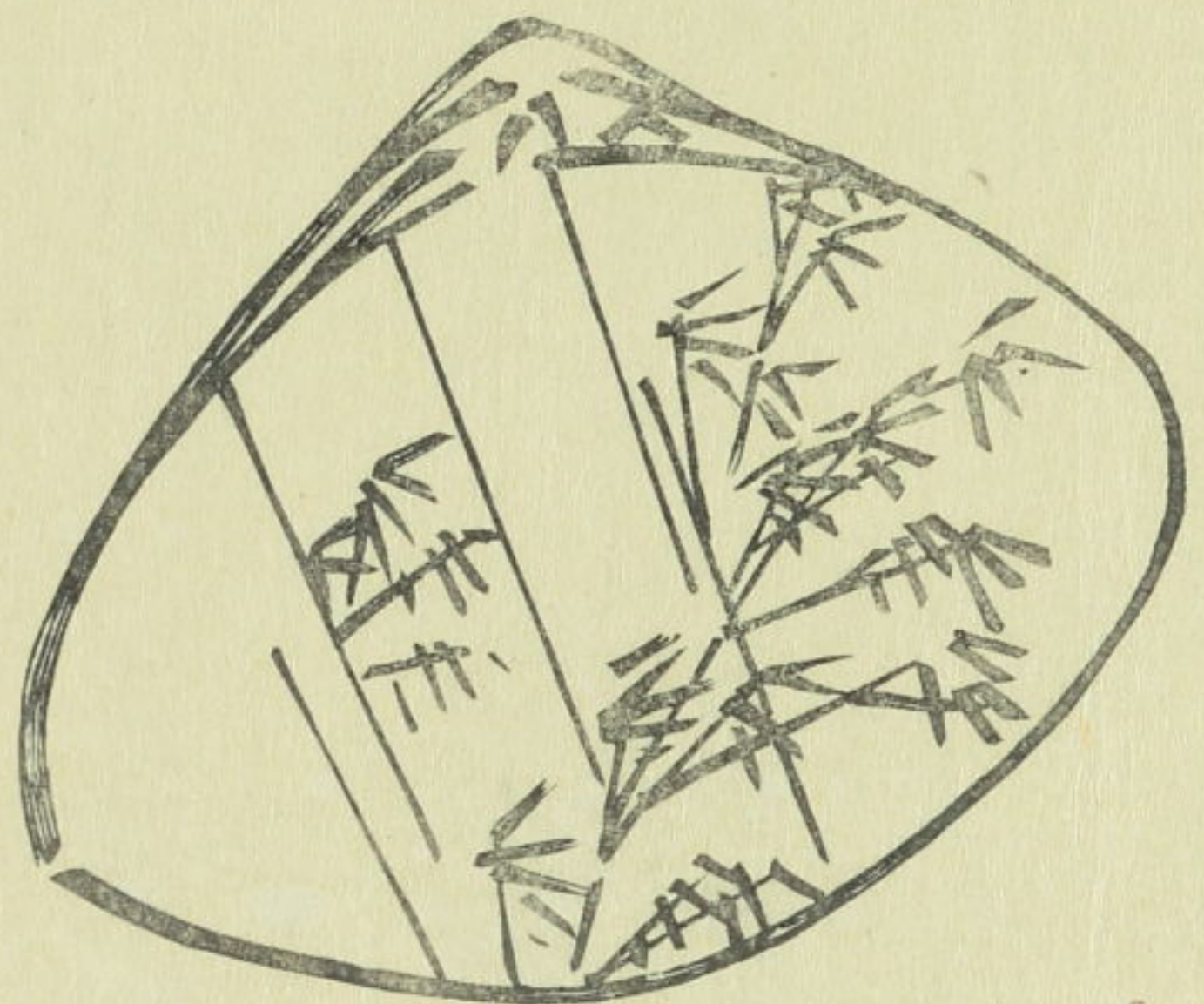
西村民号是亭又殊声菴羽川秋田男鹿舟越村之  
住人格名扇屋之助

御風秋山氏通稱字吉号楷齋又應系羽州秋田藩  
後明高野山僧

かきとせのしるし

ついでに典

御風



舟橋

又舟橋

舟橋

舟橋

長春

源

四六上

上書

白布

中

舟橋

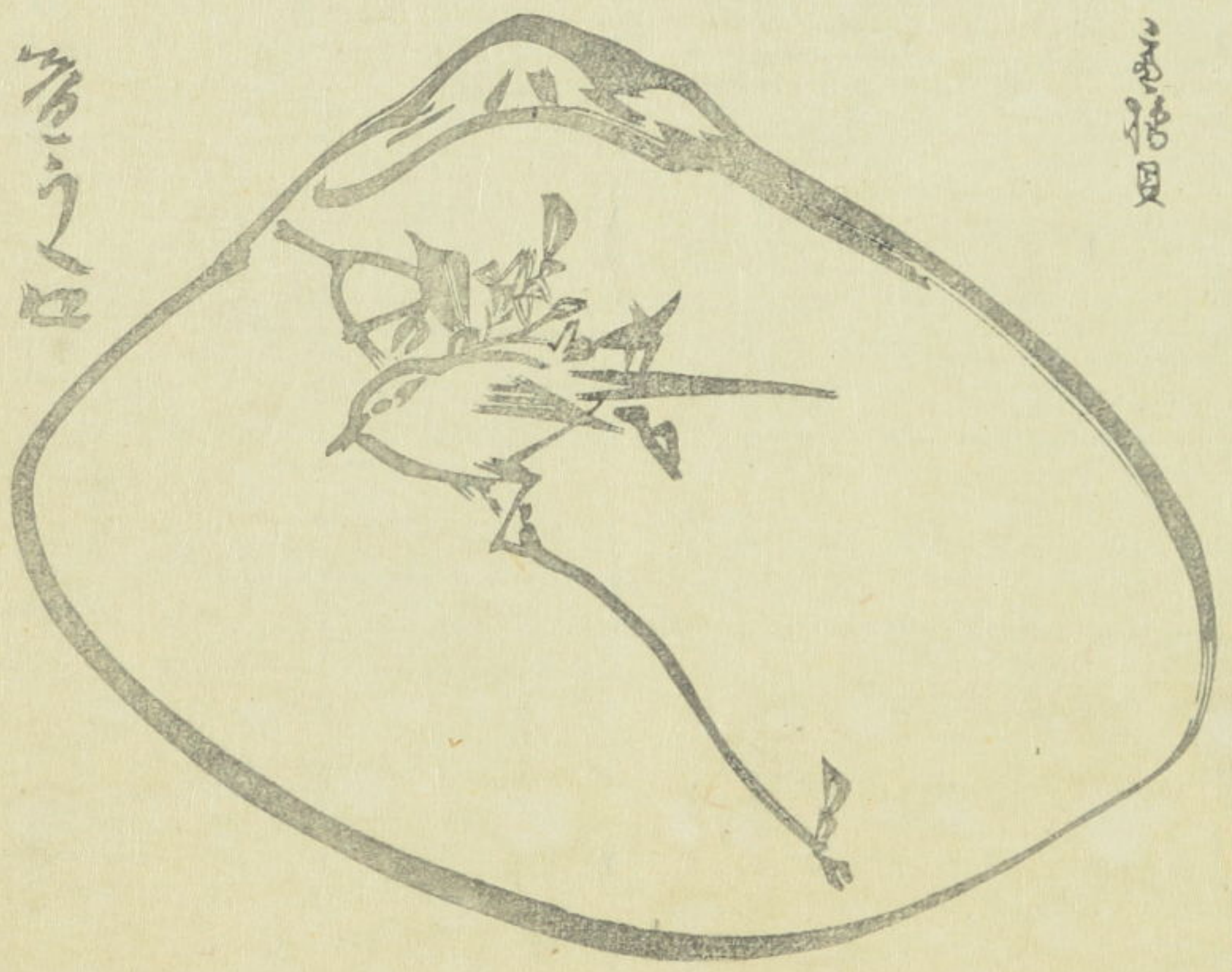
舟橋

舟橋

白文

舟橋

舟橋



白文 舟橋 位号 亦 舟橋

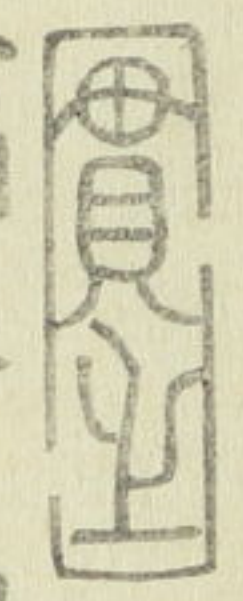
今幸もぬ日まつくは人爲子不ふ 子こ 齋  
 燈あかり 一ひと 枝えだ のも 枝えだ のも 枝えだ のも 枝えだ のも  
 一ひと 枝えだ のりあゝのまき枝えだ のも 枝えだ のも 枝えだ のも  
 五ご 江え の水みづ もむす麻あし 後のち ずあまき  
 水みづ 風かぜ のすくくたなもて 江え の水みづ 集あつ 江え  
 波なみ のゆはをす枝えだ の端はな のゆふへ なる海うみ  
 大おほ 石いし の柱はしら をむつ ともくくく 若わか 火か

賀二

事こと や 舟ふね の 帆ほ を ちかちか ちかちか ちかちか ちかちか  
 ちかちかのまもむすもむすもむすもむすの宿しゆく 鶴つる 老らう

同 黄山 遥 贺 浪 速 奇 洞 隐 士 六 十

眉 寿 應 暘 堂 之 需



翁 年 白 髮 尚 蒼 顏 齒 德 元 從 立 德  
 閑 南 極 人 星 曾 出 地 至 今 云 在 洛  
 浪 間

槎 客 小 華 太 平 翁



太平翁 朝鮮隨槎書 契官 邊世 緯字 乃經 別稱 庸齋

